

## 扶桑会館（地域会館）の移転建替に関する基本計画

## 1 扶桑会館（地域会館）の現状と課題

## (1) 現 状

## (ア) 地域会館の現状

福生市における地域会館は、町会・自治会が独自で整備した町会・自治会会館等のない地域を基本に整備してきた施設である。現在は、9地域に対して各地域に1箇所、全市域では、扶桑会館、もくせい会館、わかぎり会館、わかたけ会館、松林会館、白梅会館、さくら会館、かえで会館、田園会館施設を整備している。

## (イ) 扶桑会館の施設概要

建設年月 昭和 53 年 6 月

所在地 福生市大字福生 1069 番地 1

構造 鉄筋コンクリート造 地上 2 階建て

敷地面積 853.99 m<sup>2</sup>

建築面積 326.68 m<sup>2</sup>

集会施設 4 部屋

小会議室 (30 m<sup>2</sup>)、保育室 (72 m<sup>2</sup>)、和室 (31 帖程度)、  
集会室 (156 m<sup>2</sup>)

## (ウ) 扶桑会館の利用状況

扶桑会館は福生駅に最も近い地域会館ということもあり、年 1,600 件を超える利用があり、地域会館全 9 館の中でも利用件数は上位に位置している。

表-1 扶桑会館の利用状況（過去 3 力年）

年度	集会室		和 室		小会議室		保育室		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
H25	532	7,668	316	3,621	354	2,127	475	3,872	1,677	17,288
H26	557	7,955	335	3,364	368	2,104	436	4,043	1,696	17,466
H27	617	9,790	387	3,567	464	2,696	316	3,006	1,787	19,059

## (2) 課 題

### (ア) 公共施設等の更新・統廃合・長寿命化等への課題

現在、公共施設については、施設の老朽化が進行し、総人口の減少や人口構成の変化等により公共施設等のニーズも変化して行く中、今後の公共施設等の更新・統廃合・長寿命化等への課題があり、現在平成29年度末の策定を目途に「福生市公共施設等総合管理計画」の検討に着手している。扶桑会館（地域会館）についても例外ではなく重要な課題である。

### (イ) 老朽化した施設への対応の課題

扶桑会館は、昭和53年6月に建築され、これまで軽微な改良・維持並びに軽微な設備更新は実施されたが、長寿命化等の大規模改修は未実施であり、このため老朽化の進行が顕著であるため、外壁改修、屋上防水、給排水設備更新などの大規模改修を早期に実施する必要がある。

なお、空調設備への対応件数が増加の傾向にあり、また、排水設備等の応急対応が発生していることから、早急な対応が必要と考える。

表-2 修繕の経過（過去3カ年）

（単位：円）

年度	修繕内容	金額
H25	誘導灯設備及び非常照明修繕	115,500
	非常照明修繕	36,750
	<b>空調冷温水発生機修繕</b>	<b>223,041</b>
	計	375,291
H26	1階男子トイレスイッチ修繕	10,044
	2階女子トイレ個室鍵修繕	3,780
	<b>空調ダンパ操作器交換修繕</b>	<b>108,000</b>
	計	121,824
H27	<b>空調冷温水発生機修繕</b>	<b>42,444</b>
	排水管修繕	56,889
	計	99,333

- 空調設備については、不具合が出た際に応急的対応（修繕）を行っているが、利用者に直結する設備であることから、早急に抜本的な対応を要する。

(ウ) 扶桑会館（地域会館）に求められる設備及び機能

現状の公共施設においては、次のような設備改善、機能強化が求められている。

① バリアフリー化

・エレベーターの設置 ・段差等の解消 ・授乳室等の設置

② 環境への配慮

・照明のLED化 ・個別空調化

③ 防災機能等の充実

・避難所機能 ・防災備蓄庫 ・非常電源 ・新たな市民ニーズ

(エ) 本町地区の地域会館（もくせい会館）の廃止

地域会館は、市域に9地域を設定し各地域1箇所の地域会館を整備しているが、扶桑会館に隣接する本町地区の地域会館（もくせい会館、福生市本町18番地）については、施設目的を地域会館（学習等供用施設）から地域活性化センターへ変更し、建替えることとし、現在建設工事を実施している。

(オ) 扶桑会館に隣接する福生消防署の建替えへの対応

平成24年10月24日付けで、東京消防庁消防総監より福生市長宛てに「福生消防署庁舎建替え用地等の検討について（依頼）」が通知され、福生消防署の建替えにあたり、用地等の検討依頼があった。

消防・救急・救助活動の重要拠点である福生消防署を福生市内に確保する方向で検討を進めてきた。

(3) 基本方針（基本計画）

(ア) 扶桑会館は、施設の老朽化及び地域会館配置の課題や利用者ニーズを勘案し、「移転し建替え」を行う。

(イ) 移転場所は、福生市営福生駅西口駐車場の規模を縮小し、その一部を活用する。

※ 理 由

- 福生市営福生駅西口駐車場は、福生駅前通りの違法駐車対策及び商店街振興支援を目的に整備された駐車場である。
- 設置の目的である「福生駅前通りの違法駐車対策及び商店街振興支援」については大きな成果を揚げ、目的は達成できている。
- 施設は、立体型駐車場であり、敷地の関係からエレベーターの昇降によ

る車の入・出庫を行っているため、設備維持管理、人件費などの運営等コストが高額であるにもかかわらず、2階以上の稼働率が低い状況であり、調査検討の結果、民間駐車場の進出もあり、「1階部分以下の規模においてもこれまで同等の効果が得られる」との結論に達した。

- 移転建替える扶桑会館の建設については、建設用地が狭いが高層化により計画規模の建設は可能である。

(ウ) 施設目的は、地域会館とし、現中央地区の扶桑会館と廃止した本町地区のもくせい会館の地域会館統合を行う。

なお、建設規模については、地域会館では利用の高い扶桑会館ともくせい会館の利用状況、並びに「公共施設等の更新・統廃合・長寿命化等の課題」への対応が必至であるため、現扶桑会館と同等規模に公共施設に求められる設備機能の具現化を目指す規模とする。

(エ) 現・扶桑会館の跡地については、福生消防署庁舎用地として活用する。

## 2 扶桑会館移転に係る計画及び費用について

### (1) 扶桑会館整備費用

#### (ア) 年次計画

(単位：千円)

年度	種別	事業費	補助対象 事業費	補助額	備考
H28	実施設計	21,768	14,510	3,158	
H29	工事	117,350	36,220	18,914	
H30	工事	176,037	159,371	83,224	
XX	解体費用	19,500			
合 計		334,655	210,101	105,296	

- 【案】東京消防庁にて福生消防署の解体に含め旧扶桑会館の解体を実施する。

## 3 移転後の扶桑会館について

### (1) 移転後の扶桑会館の機能等

	移転後
所在地	福生市本町 92 番地 1
敷地面積	381.94 m <sup>2</sup>
建築面積	273.06 m <sup>2</sup>

延床面積	750 m <sup>2</sup>
構造	鉄筋コンクリート造 地上3階建て
集会施設	4部屋 会議室（75 m <sup>2</sup> ） 和室（65 m <sup>2</sup> ） 第一集会室（76.92 m <sup>2</sup> ） 第二集会室（78.12 m <sup>2</sup> ）
主な設備	自家用発電機 LED照明器具 GHP空調機 全熱交換型換気扇 11人乗りエレベーター 誰でもトイレ 授乳室

(2) 帰宅困難者向け一時滞在施設としての機能について

移転後の扶桑会館は、災害発生時の帰宅困難者向け一時滞在施設としての機能を有するものとし、屋上には自家用発電機も整備する。また、その際の支援物資として、福生市地域防災計画において定める備蓄・調達基準等に基づき、次のとおり整備する。

物資名	量
食糧（乾パン等）	175人×3食×3日間=1,575食（目安：乾パン24缶入り66箱）
飲料水	175人×3ℓ×3日間=1,575ℓ（目安：500mlペットボトル×315本）
毛布	175人×1枚=175枚（目安：備蓄用毛布5枚入り×35箱）